

冬の俳句

優秀作品

一年生

ゆきだるま

おおきくまるく

つくろうよ

さむいひは

こたつにはいって

のんびりだ

たけとんぼ

ふゆのおそらに

とんでった

ししまいが

あたまをがぶり

ありがとう

二年生

しんねんに

おてらにいつて

ねがいごと

ながめると

手の上の雪

とけていく

白い息

手に吹きかける

帰り道

まがもがね

川をわたって

すすんでる

三年生

スキー場 かがやくつらら ならんでる

冬の木も 光のつぶで まんかいだ

冬が来た ひらひら雪は 鳥みたい

四年生

スノーボード 雪を舞い上げ 突き進む

すすはらい 病気も悪も おかたづけ

こたつはね 入れば出れぬ アリじごく

おしょうさん 手伝いますよ じよやのかね

五年生

帰り道 自販機スープが うますぎる

霜柱 地面に小さな 地下施設

朝になり 外の世界は 銀色に

六年生

公園で 植物たちが 霜を着る

布団ぬぐ 外の世界は 冷蔵庫

元日に 思いをのせる 墨の筆

# 最優秀賞

## 【低学年】

白い息 手に吹きかける 帰り道

## 【中学年】

冬の木も 光のつぶで まんかいだ

## 【高学年】

公園で 植物たちが 霜を着る